



水田 畦畔除草作業を楽にします

ダイロンゾルは畦畔を作る頃に処理すれば夏頃まで雑草を抑える土壌処理剤です

雑草が生えてる場合、夏処理(7~8月頃)など

雑草が既に生えている時はダイロンゾルとバスタの混用がお奨めです。

生えている
雑草を

枯らす!

茎葉除草剤
バスタ等



特長

- ほとんどの雑草をすばやく枯らす!
スギナもしっかり枯らします!
有効成分が速やかに吸収され、散布後1~3日で効果が現れはじめます。
- 雨に強く、梅雨時期でも安心!
散布後1時間雨が降らなければ、効果に大きな影響はありません。

混
用
散
布

生えてくる
雑草を

抑える!

ホクコ
ダイロン
ゾル



特長

散布した土壌表層に薬剤(ダイロン)の処理層ができ、雑草の発生を長く抑えます。

ダイロンゾルの処理層



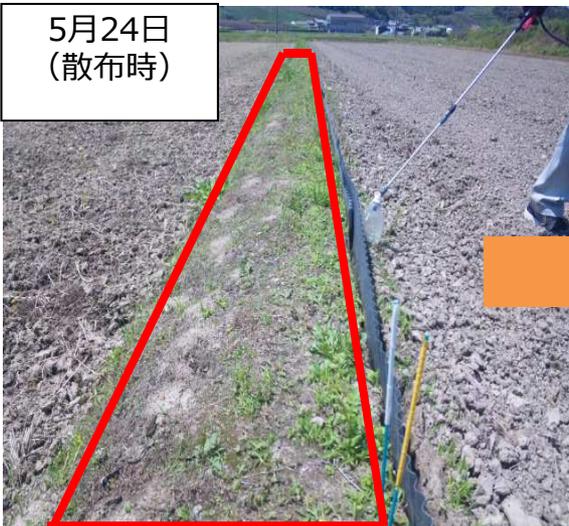
雑草の種子

夏処理：7月~8月中旬に処理すれば秋まで除草作業が不要です。

※雑草が大きくなる前に処理すればより効果的です。※散布の条件によって異なる場合があります。

処理例

5月24日
(散布時)



7月24日
(散布61日後)



ダイロンゾル
(400倍)
+
茎葉処理除草剤
(200倍)
混用散布

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届く場所には置かないで下さい。●使用後の空容器は圃場等に放置せず、
環境に影響のないよう適切に処理して下さい。●防除日誌を記帳しましょう。

ダイロンゾル+（茎葉除草剤）の使い方

混合薬液の調合早見表（水田畦畔に使用する場合）

希釈水量	水10ℓ	水18ℓ	水20ℓ	水100ℓ	水300ℓ	水500ℓ
茎葉除草剤 100～125倍	80～100 ml	144～180 ml	160～200 ml	800ml～ 1ℓ	2.4～3.0ℓ	4～5ℓ
ダイロンゾル 400倍	25ml	45ml	50ml	250ml	750ml	1.25ℓ
散布面積	1m×100m (1アール)	1m×180m (1.8アール)	1m×200m (2アール)	1m×1km (10アール)	1m×3km (30アール)	1m×5km (50アール)

3. 駐車場、家まわり、のり面などの雑草、ゼニゴケ対策に（おすすめは100倍）



希釈水量	水10ℓ	水20ℓ
茎葉除草剤 100～125倍	80～100ml	160～200ml
ダイロンゾル 100倍	100ml	200ml
散布面積	1m×100m (1アール)	1m×200m (2アール)

注：100倍で使用する際は植栽地では使用しないでください。

効果を高めるポイント

- 1 上記の調合薬液を該当面積に**しっかり散布**してください。散布液量が不足すると効果不足の原因になります。
- 2 **土壌にも**良く掛かるよう、雑草が大きくなる前に散布してください。（目安として草丈10cm以下）
- 3 調合液は沈殿しやすいので、時々攪拌してください。作りおきせず**早めに**使用してください。



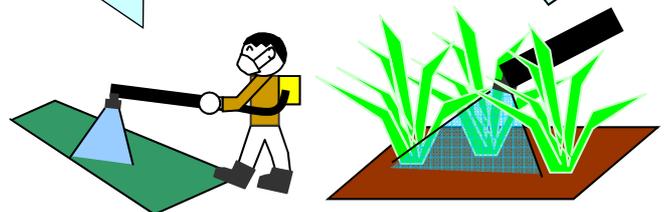
散布時の注意

1. 激しい降雨が予想される場合は、使用を避けてください。
2. 作物に薬液が付着すると薬害を生じるので、飛散しないように散布してください。
3. 水田内へのドリフト、流入に注意してください。薬害が生じる場合があります。

飛散の少ない
キラナシノズル
がオススメ



草むらにノズルをつっこんで、土壌にも散布してください！



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届く場所には置かないで下さい。●使用後の空容器は圃場等に放置せず、
環境に影響のないよう適切に処理して下さい。●防除日誌を記載しましょう。